

## Kさんの情報 2011.4.1

昨日の夜、東京に戻ってきました。大震災後、実家のある福島と妻の実家のある岩手を回っていました。地元のテレビや新聞等で連日被害の状況がかなり詳しく報道されており、文字通り想像を絶する被害であることを実感した幸いです。私の関係では、幸い、停電と実家の蔵の壁が崩れた程度であり大きな被害はなかったのですが、ガソリンをはじめ物不足はたいへんでした。

また福島原発事故については今後どうなるか心配です。風評被害もかなり広がっており、実家のある町も原発から半径約70キロほどの位置にあるため、今年稲作ができるか不安の声が挙がっているそうです。以前から地震の巣といわれるエリアに10基（福島第1と第2の合計）もの原発をつくることの危険性については、多くの専門家からくり返し指摘されていたにも関わらず、絶対安全だと強引に誘致を断行した東電の犯罪性は明らかで、とても「想定外」などといって免罪されるものではありません。（東電を刑事告発することも検討されているとのこと）もちろん、これを受け入れた県および地元の責任者の責任も問われますが。このままの状況が続けば、福島県の多くの地域では人が住めない状況になるのではないかと懸念されます。